

令和3年度 善通寺市まち・ひと・しごと創生推進会議 会議録	
日 時	令和3年11月11日（木曜日）13時30分～14時30分
会 場	善通寺市役所3階大会議室
出 席 者	速水会長、池脇副会長、高嶋委員、吾妻委員、上甲委員、高橋委員、齋藤委員、川田委員、安藤委員、高口委員、石川委員、齊藤委員、秋山委員
配 布 資 料	① 第2期総合戦略 KPI 達成状況一覧表 ② 令和3年度地方創生推進交付金事業について（観光地域づくり） ③ 令和3年度地方創生推進交付金事業について（強い農業実現プロジェクト）
会 議 の 概 要	<p>1 開 会</p> <p>2 挨拶</p> <p>＜総務部長より 挨拶＞</p> <p>＜事務局より 前回開催以降に交代した新委員を紹介＞</p> <p>＜会長及び副会長の互選＞</p> <p>会長：速水委員 副会長：池脇委員</p> <p>＜事務局より 議事内容についての説明＞</p> <p>3 議 事</p> <p>＜会長より 挨拶＞</p> <p>(1) 基本目標・重要業績評価指標の達成状況について</p> <p>＜事務局による事業説明＞</p> <p>(議長) この事業について、意見等はあるか。</p> <p>＜特に意見なし＞</p> <p>(2) 地方創生推進交付金事業（令和元年度～）について</p> <p>(委員) 令和元年度は観光産業についてピークの時期であった。</p> <p>しかし、コロナによりインバウンドは壊滅的となり、観光交通産業は大打撃を受けた。</p> <p>観光入り込み客数・観光消費額については、すぐに回復せず、これから先何年も落ち込むかもしれない。</p> <p>国から感染収束のシナリオを提示していないので、地方としては粛々と進めていくしかない。</p>

よって、さきほどの重要業績評価指標もそうだが、推進交付金事業の観光地域づくりにしても、コロナ禍の困難な状況の中取り組んでいるという注釈をつけ、場合によっては目標数値を修正するのもやむを得ないだろう。

(事務局) 他市町においても、改定のタイミング等にもよるが、コロナ禍による社会様式の変化等を踏まえて、総合戦略を修正したところもある。

善通寺市の総合戦略においても、その辺りのことを踏まえ、KPIの見直し等を実施することとしたい。

(委員) さきほどの総合戦略のKPIと地方創生推進交付金のKPIにおいて、作付面積の目標値に違いがあるように見えるがどうか。

(事務局) 推進交付金事業における55haは、令和3年度から開始している事業のため、令和7年度の数値となっている。

総合戦略のKPIは50haを目標としているが、これは令和6年度の数値であるので、令和6年度の目標値が50ha、令和7年度の目標値が55haということになる。

(委員) GOTOキャンペーンの効果が分かれば教えてほしい。

(事務局) GOTOキャンペーンの効果について、善通寺市において数値的に把握することは難しい。

ただ、インセンティブとして非常に有効だという声は聞くので、期待しているところである。

(委員) 観光入込客数について、どの資料を基に算出したのか。

(事務局) 観光入込客数は、市が調査し把握している数値を記載している。
観光消費額については、市で数値を把握できていないので、県の観光実態調査の数値を元に善通寺市分を算出している。

(3) 総合戦略の改定について

<事務局による事業説明>

(議長) この事業について、意見等はあるか。

(委員) 国が地方創生に関するデータ集を出している。その中で地方の動きとして、DX、ドローン等の未来技術を活用した地方創生に取り組んでいる団体があることが重点項目がとして示されていた。

これら重点項目については国の補助金も充実しているだろうから、善通寺市でもゼロカーボン宣言をしているが、こういった重点項目について積極的に進めてはどうか。

(事務局) それら重点項目について、善通寺市としてもしっかりと取り組みたいと考えている。

(委員) ふるさと納税寄附者数が増えているが、これは何か理由があるか。

(事務局) ふるさと納税のポータルサイトについて、令和元年度は「ふるさとチョイス」だけで運用していたが、令和2年度に「楽天」を追加したこと、また、返礼品の種類を増やせたこと、さらに、人気商品の画像をプロカメラマンである地域おこし協力隊が撮影したものに変えたことなどが影響していると考えている。

(委員) ふるさと納税の人気商品をピックアップして観光客向けにPRするなどすれば、観光消費額も上がるのではないか。

PRのやり方も、ユーチューブを利用するなどして、従来よりも安価かつ多くの人にPRできるやり方があると思うので、工夫してやってほしい。

(事務局) ふるさと納税の返礼品と一緒に観光パンフレットを送っているところであるが、動画等を利用したPRについても検討しているところなので、積極的に取り組んでいきたい。

(4) その他

(委員) 「さぬきキウイっこ」について、市の特産品としてPRしてはどうか。

(事務局) 強い農業実現プロジェクトにおいて、「さぬきキウイっこ」などの食べやすい商品ができていることを関東でPRする予定である。

(5) 閉 会

以上